

授業科目名	社会科・公民科指導法Ⅱ		開講年次	2	単位数	2
担当形態	単独	教員の免許状取得のための必修科目（中一種免社会）、選択科目（高一種免公民）				
科目区分	教科及び教科の指導法に関する科目					
各科目に含めることが必要な事項	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）					
サブタイトル	中学校社会科教育の理論と実践			担当者	小松 伸之	
授業概要	<p><b>【実務（中学・高等学校教諭）経験を活かした授業】</b>  中学校及び高等学校における教育経験をもとに、学校現場で求められる基礎的な実践的指導力の育成を図る。</p> <p><b>【概要】</b>  中学校社会科教育について理論と実践の両面から取り上げ、大きく3点学ぶことをねらいとする。まず、学習指導要領に示された目標と資質・能力や内容等を学習することで社会科の概要をつかみ、さらに教科書の内容との結びつきを確認することで内容理解を深める。あわせてICTの活用を取り上げて教材研究の一助とする。次いで、学習指導案の基本的な作成方法を学び、授業の流れをイメージした組み立てができるようにしていく。そして、模擬授業づくりを行って授業の組み立て方を身につけるとともに、模擬授業の実践や参加者による授業分析を行うことで、社会科教員として求められる実践的なスキルを養う。なお、教科内容に関する基礎学力向上のために、随時小テストを実施する。</p> <p><b>【到達目標】</b>  ○学習指導要領における中学校社会科教育の目標や内容について理解を深めることができる。  ○学習指導案の基本的な作成方法を身につけて実践することができる。  ○基本的な授業づくりの方法を身につけて、模擬授業を実践することができる。</p>					
履修条件	「社会科・公民科指導法Ⅰ」を履修済み、もしくは本年度に履修予定の者。					
教科書・参考書	<p><b>【教科書】</b>  文部科学省『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編』  中学校社会科教科書（地理的分野・歴史的分野・公民的分野，東京書籍版）</p> <p><b>【参考書】</b>  田部俊充他『大学生のための社会科授業実践ノート 増補版』風間書房  日本社会科教育学会編『新版 社会科教育事典』ぎょうせい</p>					
授業回数	授業内容					
1	中学校とは、中学生とは、中学校教員に求められる資質 予習：教育経験の振り返り 復習：授業内容についての復習					
2	学習指導要領の理解①（前文、総則、総説） 予習：学習指導要領の読解 復習：学習指導要領の読み返し					
3	学習指導要領の理解②（社会科の目標と資質・能力） 予習：学習指導要領の読解 復習：学習指導要領の読み返し					
4	学習指導要領の理解③（地理的分野の目標と資質・能力と内容の取扱い等） 予習：学習指導要領の読解 復習：学習指導要領の読み返し					
5	学習指導要領の理解④（歴史的分野の目標と資質・能力と内容の取扱い等） 予習：学習指導要領の読解 復習：学習指導要領の読み返し					
6	学習指導要領の理解⑤（公民的分野の目標と資質・能力と内容の取扱い等） 予習：学習指導要領の読解 復習：学習指導要領の読み返し					
7	教科書分析とICTを活用した教材研究①（地理的分野） 予習：地理的分野教科書の読解 復習：教材研究の深化					
8	教科書分析とICTを活用した教材研究②（歴史的分野） 予習：歴史的分野教科書の読解 復習：教材研究の深化					
9	教科書分析とICTを活用した教材研究③（公民的分野） 予習：公民的分野教科書の読解 復習：教材研究の深化					
10	学習指導案の作成①（学習指導案の構成を学ぶ） 予習：学習指導案の読解 復習：学習指導案の読み返し					
11	学習指導案の作成②（学習指導案を読み込む） 予習：学習指導案の読解 復習：学習指導案の作成					
12	模擬授業と相互批評①（地理的分野） 予習：模擬授業の準備 復習：模擬授業の振り返り					
13	模擬授業と相互批評②（歴史的分野） 予習：模擬授業の準備 復習：模擬授業の振り返り					
14	模擬授業と相互批評③（公民的分野） 予習：模擬授業の準備 復習：模擬授業の振り返り					
15	学習到達度確認試験、総括 予習：授業内容についての総復習 復習：理解が不十分な点についての復習					
評価方法	試験・小テスト(30%)、模擬授業及び振り返りレポート(30%)、学習指導案(25%)、ワークシート(15%) ※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。					
評価基準	授業内容についてよく理解して学習指導案をまとめ模擬授業を実践できた者には「S」または「A」を与える。学習指導案や模擬授業に不十分な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、取り組む姿勢が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他						